

防火・防犯・緊急時の対処法

2023.09.01

1. 防犯について

ア. 普段からの心がけ

- 留守の頼みあい
出掛ける時は「お願いします」の一言を
隣近所で協力して留守を頼みあいましょう。
- 不審な人には声かけて
みんなで協力して不審な人には「どちらをお訪ねですか！」などの一声をかけましょう。
それでも不審な行動をとるようならば、警察に連絡して処置を依頼しましょう。
- 屋外物置は必ず施錠
近隣の団地で屋外物置のドアを開け、内部に放火された事件がありました。
物を取られるだけでなく、放火にも気を付けましょう。
- 現金・貴重品
目立たないところに数カ所に分けて、預金通帳と印鑑やキャッシュカードは別々に保管しましょう。
- 踏み台・ハシゴ、鉄棒など
侵入道具に使われそうなものは放置しないようにしましょう。
- 被害にあったとき
その被害品の特徴を正確に届ければ、警察では全国に手配したり、質屋など回ったりして探すことができます。貴重品の特徴は普段からメモしておくか、特に大切なものは写真に撮っておきましょう。
- 被害を受けたら . . . 電話 110番
- 一刻も早い届け出を！
最近の犯罪はほとんど車を利用し、予想以上に犯人の逃げ足を速めています。被害届の遅れは、それだけ犯人も被害品も遠くへ逃がしてしまいます。
- 犯罪現場は証拠の宝庫
犯罪現場には。スーパーマンや鳥人の仕業でない限り、犯人の指紋や足跡が残されています。戸の開け方など犯行のやり方、一本の毛髪などからも犯人を割り出すこともできます。犯罪現場は、手を触れたり、歩き回ったり、掃除をしたりしないで、そのままの状態に警察官の到着をまってください。

イ. 110番のかけ方

落ち着いて、要領よく下記の事を話してください。

- 何があったか（事件・事故）
- いつあったか（時刻）
- どこであったか（場所・目標）

これ以外の詳しい状況は電話受付担当者の質問に答えてください。

ウ. 最寄りの警察署

- 泉警察署 泉区和泉町5867-26 電話 805-0110
- いずみ野派出所 (電話するときは泉警察署に電話して接続してもらいます)

2. けが人・急病人がでたら

ア. 救急車を利用できる場合

- 救急車を呼ぶか迷ったときは #7119 をダイヤルし、相談する。
 - 災害などの事故で、大きなけがをしたとき、(交通事故・労働災害など)
 - 急いで手当を必要とする病気になったとき。(やけど・中毒など)
 - 急いで入院させる必要があるとき。(心臓疾患・脳障害・異常分娩・急性盲腸炎など)
- (軽い病気やけがの時、あるいは伝染病のときは、利用できません。)

イ. 救急車の要請のしかた

- 局番なしの「119番」をダイヤルしたら、次の事をはっきり伝える。
 - ◆ 救急・事故
 - ◆ 住所・氏名・目標
 - ◆ けがまたは病気の概要
 - ◆ その他特に必要なこと
- 要請し終わったら、健康保険証および診察券があれば用意する。
- 救急車のサイレン(ピーポー)が聞こえたら、案内人を出す。
- 付添人は最小限にする。

ウ. 救急車を頼んだときの病院の選定

かかりつけの病院または事前に入院の了解がある場合を除き、病院の選定は救急隊員に一任する。

エ. いずみ野周辺の医療機関

- 塩田医院(内科・小児科) 電話 804-6655
- みごころ診療所(内科) 電話 806-6123
- 安藤医院(内科・胃腸科) 電話 392-3136
- いずみ野皮ふ科 電話 804-1210
- 木下整形外科(外科) 電話 804-3260
- いずみ野整形外科 電話 800-5502
- 細谷歯科医院(歯科) 電話 804-2565
- 国際親善総合病医院 電話 823-0221(代)
- 国立病院機構 横浜医療センター 電話 851-2621(総合受付)

オ. お医者さんを紹介します。

病気になったとき、症状に応じて適切な病院や診療所を紹介しています。

- 「横浜市救急医療情報センター」 電話 212-1199
(24時間・年中無休)

カ. 泉区の「休日・夜間診療所」

- 泉区休日急患診療所 電話 806-0921 泉区和泉中央北 5-1-5
(日曜日・祝祭日と12月30日～1月3日)
内科・小児科 10時～16時(受付時間)
- 横浜市南西部夜間救急病院 電話 806-0921 中田北 1-9-8
(毎日夜間)
内科・小児科 20時～24時(受付時間)
- 横浜市夜間急病センター 電話 212-3535 横浜市中区桜木町 1丁目1
内科・小児科・眼科・耳鼻咽喉科(毎日夜間 20時～24時 受け付け)

3. 火災になったときは

ア. 早く知らせる

早い通報・少ない損害 = どんな小さな火災でも、火災を出したり、発見したら大声を出して「火事だー！」と家族や近所の人に早く知らせ、協力を求めることが大切です。

一人で消そうとしたり、逃げてしまうと火災を大きくするばかりでなく、たくさんの犠牲者を出すこととなります。

《火災を知らせる方法》

- 大声で「火事だー！」と叫んで家族や近所の人に知らせる。
- 火災を知ったら電話 119番、落ち着いて区名、町名、番地、目標を正しく知らせる。

イ. 早く消す

消火のタイミング = 大きな火災も、発見したときは消火器でも十分消すことができる程度、といった場合が多いものです。

天井に火が燃え移る前なら、あなたにも十分消化することができます。

消火器は各階段2階のパイプスペースにも設置してあります。

《消化のテクニック》

- 落ち着いて、素早く鼓動する。
- 燃えているものを良く見極め、消火器の場合はホウキで掃くように、水バケツの場は場広く覆うようにする。

ウ. もよりの消防署

| | | |
|---------|---------------------|-------------|
| 泉消防署 | 泉区和泉町 3 4 9 2 | 電話 801-0119 |
| いずみの出張所 | 泉区和泉町 6 2 1 2 - 1 3 | 電話 804-0119 |